

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日

上場会社名	ニチレキ株式会社	上場取引所	東
コード番号	5011	URL	https://www.nichireki.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)小幡 学	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員経理部長	(氏名)後藤 武士	(TEL) 03-3265-1511
定時株主総会開催予定日	2020年6月26日	配当支払開始予定日	2020年6月29日
有価証券報告書提出予定日	2020年6月29日		
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	66,725	6.0	6,009	7.4	6,225	8.6	1,821	△49.2
2019年3月期	62,919	3.9	5,593	2.7	5,731	1.8	3,589	△7.6

(注) 包括利益 2020年3月期 856百万円(△69.8%) 2019年3月期 2,837百万円(△39.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	63.53	—	3.4	8.8	9.0
2019年3月期	125.18	—	6.9	8.2	8.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 16百万円 2019年3月期 △32百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	71,487	52,827	73.9	1,842.51
2019年3月期	70,297	52,889	75.2	1,844.66

(参考) 自己資本 2020年3月期 52,827百万円 2019年3月期 52,889百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,203	△3,352	△1,027	17,181
2019年3月期	5,417	△5,482	△845	18,367

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	—	—	32.00	32.00	917	25.6	1.8
2020年3月期	—	—	—	34.00	34.00	974	53.5	1.8
2021年3月期(予想)	—	—	—	34.00	34.00		—	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	△8.1	700	△45.2	900	△35.2	700	—	24.41
通 期	63,000	△5.6	6,000	△0.2	6,200	△0.4	4,200	130.6	146.48

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	31,685,955株	2019年3月期	31,685,955株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,014,203株	2019年3月期	3,014,269株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	28,671,931株	2019年3月期	28,671,952株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	33,763	5.8	2,367	2.2	4,049	3.6	861	△70.2
2019年3月期	31,925	4.8	2,317	△11.1	3,909	△5.1	2,889	△11.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	30.03		—					
2019年3月期	100.78		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	56,556		36,936		65.3	1,288.25		
2019年3月期	57,839		37,786		65.3	1,317.90		

(参考) 自己資本 2020年3月期 36,936百万円 2019年3月期 37,786百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		比較増減	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	伸率 (%)
売上高	62,919	100.0	66,725	100.0	3,806	6.0
アスファルト応用加工製品事業	19,006	30.2	20,495	30.7	1,488	7.8
道路舗装事業	43,619	69.3	45,930	68.8	2,310	5.3
その他	292	0.5	299	0.5	6	2.2
売上総利益	13,910	22.1	15,000	22.5	1,090	7.8
営業利益	5,593	8.9	6,009	9.0	416	7.4
経常利益	5,731	9.1	6,225	9.3	494	8.6
親会社株主に帰属する当期純利益	3,589	5.7	1,821	2.7	△1,767	△49.2

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあって緩やかな回復が続きましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、期末にかけて大幅に下押しされ、厳しい状況に陥りました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、公共投資は堅調に推移したものの、台風による自然災害の影響や受注競争の激化など、引き続き厳しい状況にありました。

当社グループはこのような環境の中で、中期経営計画『N e x t 2 0 2 0』の4年目として「市場の拡大と深耕」を最重点課題とする成長戦略に基づき、各施策に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は66,725百万円（前期比6.0%増）、営業利益は6,009百万円（前期比7.4%増）、経常利益は6,225百万円（前期比8.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,821百万円（前期比49.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

「アスファルト応用加工製品事業」

アスファルト応用加工製品事業につきましては、自社製品および工法の設計・受注活動の推進、経費の削減等に務めてまいりました。

売上高は20,495百万円（前期比7.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は4,853百万円（前期比16.3%増）となりました。

「道路舗装事業」

道路舗装事業につきましては、発注物件への工法提案や受注活動と工事の着実な執行に加え、原価管理の強化を進めてまいりました。

売上高は45,930百万円（前期比5.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は3,695百万円（前期比2.5%減）となりました。

「その他」

その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は299百万円（前期比2.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は221百万円（前期比6.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		比較増減	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	伸率 (%)
流動資産	43,582	62.0	45,836	64.1	2,254	5.2
固定資産	26,714	38.0	25,650	35.9	△1,063	△4.0
流動負債	14,771	21.0	16,542	23.1	1,770	12.0
固定負債	2,636	3.7	2,117	3.0	△518	△19.7
純資産	52,889	75.2	52,827	73.9	△61	△0.1
総資産	70,297	100.0	71,487	100.0	1,190	1.7

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前期末に比べて2,254百万円増加して45,836百万円となりました。これは、現金及び預金が214百万円、受取手形及び売掛金が1,682百万円、電子記録債権が338百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

固定資産は、前期末に比べて1,063百万円減少して25,650百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が331百万円、投資有価証券が724百万円減少したことなどによるものです。

(流動負債)

流動負債は、前期末に比べて1,770百万円増加して16,542百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が822百万円、電子記録債務が992百万円増加したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は、前期末に比べて518百万円減少して2,117百万円となりました。これは、繰延税金負債が408百万円、退職給付に係る負債が83百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前期末に比べて61百万円減少して52,827百万円となりました。これは、利益剰余金が904百万円増加、その他有価証券評価差額金が694百万円減少したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前期末に比べて1,185百万円減少し、17,181百万円となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローで増加した資金は3,203百万円（前期比40.9%減）となりました。これは、税金等調整前当期純利益3,942百万円、投資有価証券売却益608百万円、売上債権の増加1,670百万円、仕入債務の増加786百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローで支出した資金は3,352百万円（前期比38.9%減）となりました。これは、定期預金の預入による支出2,810百万円、有形固定資産の取得による支出1,551百万円、などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローで支出した資金は1,027百万円（前期比21.6%増）となりました。これは、配当金の支払額915百万円などによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	72.9	71.7	72.8	75.2	73.9
時価ベースの自己資本比率(%)	39.5	40.0	50.5	44.7	52.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	18.4	17.1	21.3	19.3	32.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	906.0	1,113.87	820.36	930.96	589.41

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

区分	連結業績予想			
	第2四半期(累計)		通期	
	金額 (百万円)	対前年 増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	25,000	△8.1	63,000	△5.6
営業利益	700	△45.2	6,000	△0.2
経常利益	900	△35.2	6,200	△0.4
親会社株主に帰属する当期 純利益	700	—	4,200	130.6

次期連結会計年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、災害復旧・復興や道路インフラ老朽化対策などへの建設需要の高まりがあるものの、企業間の熾烈な受注競争や、原油価格・為替レートの変動による原材料価格への影響もあり、引き続き厳しい事業環境が予測されます。また、新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループの業績に与える影響については、先行き不透明であり、現時点では上記連結業績予想には織り込んでおりません。但し、今後の感染拡大による工事執行の遅れや工事量の減少、原油価格の急落と不安定化による製品販売価格の低迷、及びそれに伴う工場稼働率の低下等が続く場合には、業績に変動をもたらす可能性があります。今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかに開示いたします。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画『Next 2020』をさらに推進することで、外部環境に左右されない企業体質への改善を図り、グループの持続的成長を目指してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,677	19,891
受取手形及び売掛金	18,342	20,024
電子記録債権	2,990	3,328
商品及び製品	985	1,049
未成工事支出金	286	287
原材料及び貯蔵品	960	735
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	77	77
その他	268	453
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	43,582	45,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,505	13,825
減価償却累計額	△7,342	△7,779
建物及び構築物(純額)	6,162	6,045
機械装置及び運搬具	22,868	23,647
減価償却累計額	△19,441	△20,552
機械装置及び運搬具(純額)	3,426	3,095
土地	5,500	5,496
リース資産	439	520
減価償却累計額	△158	△219
リース資産(純額)	281	300
建設仮勘定	28	129
その他	2,630	2,668
減価償却累計額	△2,004	△2,118
その他(純額)	626	549
有形固定資産合計	16,027	15,617
無形固定資産		
その他	680	726
無形固定資産合計	680	726
投資その他の資産		
投資有価証券	5,239	4,514
関係会社出資金	434	657
関係会社長期貸付金	673	673
繰延税金資産	534	562
長期預金	2,820	2,820
その他	568	544
貸倒引当金	△243	△446
投資損失引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	10,007	9,306
固定資産合計	26,714	25,650
資産合計	70,297	71,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,580	8,402
電子記録債務	—	992
短期借入金	700	700
1年内返済予定の長期借入金	6	—
リース債務	59	74
未払金	2,619	1,762
未払法人税等	1,349	1,541
デリバティブ債務	—	144
賞与引当金	863	1,006
役員賞与引当金	92	110
その他の引当金	55	58
その他	1,446	1,747
流動負債合計	14,771	16,542
固定負債		
長期未払金	6	5
リース債務	246	253
長期預り金	48	48
繰延税金負債	477	68
環境対策引当金	0	—
退職給付に係る負債	1,691	1,607
資産除去債務	132	133
長期借入金	33	—
固定負債合計	2,636	2,117
負債合計	17,407	18,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	2,017	2,017
利益剰余金	47,287	48,191
自己株式	△1,779	△1,779
株主資本合計	50,445	51,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,205	1,511
繰延ヘッジ損益	—	△100
為替換算調整勘定	12	△4
退職給付に係る調整累計額	226	72
その他の包括利益累計額合計	2,444	1,478
純資産合計	52,889	52,827
負債純資産合計	70,297	71,487

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	62,919	66,725
売上原価	49,009	51,725
売上総利益	13,910	15,000
販売費及び一般管理費	8,316	8,990
営業利益	5,593	6,009
営業外収益		
受取利息	34	29
受取配当金	138	149
持分法による投資利益	—	16
その他	19	34
営業外収益合計	192	230
営業外費用		
支払利息	5	5
持分法による投資損失	32	—
為替差損	9	2
その他	7	6
営業外費用合計	54	15
経常利益	5,731	6,225
特別利益		
固定資産売却益	30	55
投資有価証券売却益	—	608
負ののれん発生益	25	39
受取保険金	34	25
受取補償金	10	—
その他	3	50
特別利益合計	105	778
特別損失		
固定資産除却損	37	10
関係会社出資金評価損	99	98
関係会社貸倒引当金繰入額	195	195
投資損失引当金繰入額	20	—
独占禁止法関連損失	—	2,577
その他	20	179
特別損失合計	373	3,061
税金等調整前当期純利益	5,462	3,942
法人税、住民税及び事業税	1,858	2,135
法人税等調整額	15	△14
法人税等合計	1,873	2,120
当期純利益	3,589	1,821
親会社株主に帰属する当期純利益	3,589	1,821

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,589	1,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△646	△694
繰延ヘッジ損益	—	△100
為替換算調整勘定	△5	△2
退職給付に係る調整額	△79	△153
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	△13
その他の包括利益合計	△751	△965
包括利益	2,837	856
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,837	856

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,919	2,017	44,495	△1,779	47,653
当期変動額					
剰余金の配当			△774		△774
親会社株主に帰属する当期純利益			3,589		3,589
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	0	0
連結範囲の変動			12		12
持分法の適用範囲の変動			△35		△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,792	△0	2,791
当期末残高	2,919	2,017	47,287	△1,779	50,445

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,852	—	—	305	3,158	50,811
当期変動額						
剰余金の配当						△774
親会社株主に帰属する当期純利益						3,589
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
連結範囲の変動						12
持分法の適用範囲の変動						△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△646	—	12	△79	△714	△714
当期変動額合計	△646	—	12	△79	△714	2,077
当期末残高	2,205	—	12	226	2,444	52,889

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,919	2,017	47,287	△1,779	50,445
当期変動額					
剰余金の配当			△917		△917
親会社株主に帰属する当期純利益			1,821		1,821
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△0	0	0
連結範囲の変動					—
持分法の適用範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	904	0	904
当期末残高	2,919	2,017	48,191	△1,779	51,349

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,205	—	12	226	2,444	52,889
当期変動額						
剰余金の配当						△917
親会社株主に帰属する当期純利益						1,821
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
連結範囲の変動						—
持分法の適用範囲の変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△694	△100	△16	△153	△965	△965
当期変動額合計	△694	△100	△16	△153	△965	△61
当期末残高	1,511	△100	△4	72	1,478	52,827

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,462	3,942
減価償却費	1,855	2,113
負ののれん発生益	△25	△39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	176	206
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	20	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△294	△312
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△26	160
受取利息及び受取配当金	△172	△179
支払利息	5	5
受取保険金	△34	△25
固定資産売却損益 (△は益)	△30	△47
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△608
関係会社出資金評価損	99	98
固定資産除却損	37	10
補助金収入	△6	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	682	△1,670
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	25	△62
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△106	249
仕入債務の増減額 (△は減少)	△923	786
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	50	△64
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23	399
持分法による投資損益 (△は益)	32	△16
災害損失	14	120
独占禁止法関連損失	—	2,577
その他	11	6
小計	6,877	7,647
利息及び配当金の受取額	172	179
補助金の受取額	6	3
保険金の受取額	34	25
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△1,651	△1,982
独占禁止法関連支払額	—	△2,577
災害損失の支払額	△16	△86
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,417	3,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,010	△2,810
定期預金の払戻による収入	910	1,410
有形固定資産の取得による支出	△2,910	△1,551
有形固定資産の売却による収入	35	119
有形固定資産の除却による支出	△21	△5
無形固定資産の取得による支出	△414	△185
投資有価証券の取得による支出	△101	△302
投資有価証券の売却による収入	—	663
貸付けによる支出	△10	△2
貸付金の回収による収入	6	6
関係会社出資金の払込による支出	—	△319
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△372
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	14	—
その他	20	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,482	△3,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000	2,200
短期借入金の返済による支出	△2,000	△2,200
リース債務の返済による支出	△54	△73
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△772	△915
長期借入金の返済による支出	△17	△39
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845	△1,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△918	△1,185
現金及び現金同等物の期首残高	19,195	18,367
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90	—
現金及び現金同等物の期末残高	18,367	17,181

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品およびサービス別に包括的な戦略を立案し、道路舗装に関する製品・工事等を幅広く提供する事業活動を展開しております。したがって、「アスファルト応用加工製品事業」および「道路舗装事業」の2つの報告セグメントとしております。「アスファルト応用加工製品事業」はアスファルト乳剤、改質アスファルトおよびその他道路舗装材料等の製造・販売、「道路舗装事業」は舗装、土木、橋梁防水およびその他建設工事を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成の基礎となる会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益および振替高は市場の実勢価格に基づいています。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	アスファルト 応用加工 製品事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,006	43,619	62,626	292	62,919	—	62,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,719	—	10,719	60	10,779	△10,779	—
計	29,726	43,619	73,345	353	73,699	△10,779	62,919
セグメント利益	4,171	3,788	7,959	207	8,167	△2,573	5,593
セグメント資産	23,878	28,250	52,128	2,061	54,190	16,106	70,297
その他の項目							
減価償却費	725	733	1,458	79	1,537	317	1,855
持分法適用会社への投 資額	258	—	258	—	258	—	258
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,455	955	2,411	182	2,593	273	2,866

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理業等であります。

2 (1)セグメント利益の調整額△2,573百万円にはセグメント間取引消去△62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,511百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(2)セグメント資産の調整額16,106百万円には、当社での余資運用資金(現預金および有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)および管理部門に係る資産が含まれております。

(3)その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社に係るものであります。

3 セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	アスファルト 応用加工 製品事業	道路舗装 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,495	45,930	66,426	299	66,725	—	66,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,831	—	11,831	61	11,893	△11,893	—
計	32,327	45,930	78,257	361	78,619	△11,893	66,725
セグメント利益	4,853	3,695	8,548	221	8,770	△2,760	6,009
セグメント資産	24,837	30,320	55,158	2,010	57,168	14,318	71,487
その他の項目							
減価償却費	869	821	1,691	79	1,770	342	2,113
持分法適用会社への投 資額	580	—	580	—	580	—	580
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	863	635	1,499	0	1,499	201	1,700

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、損害保険代理業等であります。

- 2 (1)セグメント利益の調整額△2,760百万円にはセグメント間取引消去△99百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,660百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- (2)セグメント資産の調整額14,318百万円には、当社での余資運用資金(現預金および有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)および管理部門に係る資産が含まれております。
- (3)その他の項目の減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社に係るものであります。
- 3 セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,844.66円	1,842.51円
1株当たり当期純利益金額	125.18円	63.53円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,589	1,821
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,589	1,821
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,671	28,671

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	52,889	52,827
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	52,889	52,827
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	28,671	28,671

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,309	16,410
受取手形	2,806	2,479
電子記録債権	2,190	2,494
売掛金	7,978	8,739
完成工事未収入金	999	797
商品及び製品	971	961
未成工事支出金	73	76
原材料及び貯蔵品	859	606
短期貸付金	403	352
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	77	77
その他	316	363
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	33,985	33,358
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,593	4,467
構築物	1,122	1,096
機械及び装置	1,875	1,638
車両運搬具	67	100
工具、器具及び備品	558	475
土地	3,987	3,897
リース資産	271	297
建設仮勘定	27	128
有形固定資産合計	12,504	12,102
無形固定資産		
ソフトウェア	516	454
その他	112	206
無形固定資産合計	628	660
投資その他の資産		
投資有価証券	5,101	4,260
関係会社株式	1,441	1,907
出資金	117	108
関係会社出資金	556	777
長期貸付金	4	2
関係会社長期貸付金	673	673
破産更生債権等	0	7
長期前払費用	46	21
長期預金	2,715	2,815
その他	319	318
貸倒引当金	△235	△437
投資損失引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	10,720	10,435
固定資産合計	23,853	23,198
資産合計	57,839	56,556

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,686	3,445
工事未払金	262	230
電子記録債務	—	992
短期借入金	700	700
リース債務	54	73
未払金	2,566	1,694
未払費用	379	338
未払法人税等	461	605
預り金	9,548	9,278
デリバティブ債務	—	144
賞与引当金	414	467
役員賞与引当金	76	81
工事損失引当金	6	3
その他	129	317
流動負債合計	18,286	18,373
固定負債		
リース債務	238	250
繰延税金負債	415	33
退職給付引当金	957	808
環境対策引当金	0	—
資産除去債務	105	106
その他	47	47
固定負債合計	1,766	1,246
負債合計	20,052	19,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,919	2,919
資本剰余金		
資本準備金	2,017	2,017
資本剰余金合計	2,017	2,017
利益剰余金		
利益準備金	729	729
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	274	272
固定資産圧縮特別勘定積立金	—	23
別途積立金	17,100	17,100
繰越利益剰余金	13,815	13,738
利益剰余金合計	31,920	31,863
自己株式	△1,273	△1,273
株主資本合計	35,584	35,527
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,202	1,509
繰延ヘッジ損益	—	△100
評価・換算差額等合計	2,202	1,409
純資産合計	37,786	36,936
負債純資産合計	57,839	56,556

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
製品売上高	18,833	20,627
商品売上高	8,367	8,675
完成工事高	2,212	1,677
賃貸事業売上高	2,511	2,781
売上高合計	31,925	33,763
売上原価		
製品売上原価	12,613	13,654
商品売上原価	7,498	7,772
完成工事原価	1,428	1,277
賃貸事業売上原価	2,349	2,550
売上原価合計	23,890	25,254
売上総利益	8,034	8,508
販売費及び一般管理費	5,717	6,141
営業利益	2,317	2,367
営業外収益		
受取利息	32	28
受取配当金	1,557	1,635
その他	20	39
営業外収益合計	1,610	1,703
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	2	6
その他	5	4
営業外費用合計	18	21
経常利益	3,909	4,049
特別利益		
固定資産売却益	3	43
投資有価証券売却益	—	608
受取保険金	28	9
受取補償金	10	—
その他	3	50
特別利益合計	46	711
特別損失		
固定資産除却損	36	9
関係会社出資金評価損	99	98
関係会社貸倒引当金繰入額	195	195
投資損失引当金繰入額	20	—
災害による損失	13	77
独占禁止法関連損失	—	2,577
その他	1	59
特別損失合計	366	3,017
税引前当期純利益	3,589	1,744
法人税、住民税及び事業税	733	918
法人税等調整額	△33	△34
法人税等合計	699	883
当期純利益	2,889	861

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			
				固定資産 圧縮積立金	固定資産圧縮特 別勘定積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,919	2,017	729	277	—	17,100	11,697
当期変動額							
剰余金の配当							△774
当期純利益							2,889
固定資産圧縮積立金の積立							
固定資産圧縮積立金の取崩				△2			2
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	△2	—	—	2,117
当期末残高	2,919	2,017	729	274	—	17,100	13,815

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計	
	利益剰余金 合計						
当期首残高	29,804	△1,273	33,468	2,843	—	2,843	36,312
当期変動額							
剰余金の配当	△774		△774				△774
当期純利益	2,889		2,889				2,889
固定資産圧縮積立金の積立	—		—				—
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—				—
自己株式の取得		△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				△641	—	△641	△641
当期変動額合計	2,115	△0	2,115	△641	—	△641	1,474
当期末残高	31,920	△1,273	35,584	2,202	—	2,202	37,786

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			
				固定資産 圧縮積立金	固定資産圧縮特 別勘定積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,919	2,017	729	274	—	17,100	13,815
当期変動額							
剰余金の配当							△917
当期純利益							861
固定資産圧縮積立金の積立					23		△23
固定資産圧縮積立金の取崩				△2			2
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	△2	23	—	△77
当期末残高	2,919	2,017	729	272	23	17,100	13,738

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計	
	利益剰余金 合計						
当期首残高	31,920	△1,273	35,584	2,202	—	2,202	37,786
当期変動額							
剰余金の配当	△917		△917				△917
当期純利益	861		861				861
固定資産圧縮積立金の積立	—		—				—
固定資産圧縮積立金の取崩	—		—				—
自己株式の取得		△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				△692	△100	△793	△793
当期変動額合計	△56	△0	△56	△692	△100	△793	△850
当期末残高	31,863	△1,273	35,527	1,509	△100	1,409	36,936